

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第2回弘前市スポーツ推進審議会
開 催 年 月 日	令和5年11月20日(月)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分 から 14時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	【議長(会長)】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長
出 席 者	【学識経験者】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長 福田 由理子 弘前市スポーツ推進委員 小山内 修 弘前市スポーツ少年団本部長 木村 宏 東奥日報社弘前支社長 渡邊 智 陸奥新報社取締役 對馬 大成 弘前大学教育学部附属特別支援学校教諭 【関係行政機関】 對馬 匠 弘前市立石川小学校長 【公募委員】 上田 優人 西澤 雄貴
欠 席 者	鹿内 葵 青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 中嶋 実樹 青森県障害者スポーツ協会理事 小笠原 恭史 弘前市立第三中学校長
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	佐伯 尚幸 健康こども部長 小山内 一仁 健康こども部スポーツ振興課長 平野 家隆 健康こども部スポーツ振興課主幹 佐々木 愛美 健康こども部スポーツ振興課主事
会 議 の 議 題	・令和6年度補助金交付計画について(諮問事項)
会 議 結 果	事務局案で委員の承認を得た
会 議 資 料 の 名 称	・令和6年度 補助金交付計画 参考資料

<p>会 議 内 容</p> <p>(発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)</p>	<p>(会議内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 会議 4. 閉会 <p>《 1. 開会 》</p> <p>《 2. 会長挨拶 》</p> <p>《 3. 会議 》</p> <p>会 長：本日の議題は「令和6年度補助金交付計画について」。 スポーツ基本法の中でも、地方公共団体がスポーツ団体に補助金を交付しようとするときは、あらかじめスポーツ推進審議会の意見を聞くことと定められている。来年度、弘前市がスポーツ団体に交付することを予定している補助金の主旨や目的について皆さんの意見を頂戴できればと思う。それでは、事務局から説明を。</p> <p>事務局：令和6年度補助金交付計画について説明</p> <p>会 長：前年度から変わった点としては、1番の補助金が、スキー教室やジュニア・アルペンスキー大会、ジャイアントスラローム大会、ナイタースキースクールと競技ごとに補助金が設定されていたが、「ウィンタースポーツ振興事業費」として一本化された。また、2番の補助金が、相撲、剣道、一輪車の全国大会への補助から、「全国大会運営事業費」として、競技を定めずに補助する形になったとの説明だった。昨年の審議会が出た「種目を固定せず、広く補助してほしい」との意見を反映した形となっている。ただ今の説明について、意見・質問等はないか。</p> <p>委 員：資料中の「予算額」について。令和5年度と記載あるが、これは令和6年度の予算であると捉えてよいか。</p> <p>事務局：令和6年度の予算額を示すことができればいいが、現</p>
---	--

在、令和6年度の予算編成作業中である。補助金については、令和5年度と同様の規模で進めているため、今審議会では令和5年度の予算額を参考として示している。

会 長：令和5年度の予算をたたき台として、来年度予算を編成中とのことであった。それを踏まえて、何か意見・質問などはないか？

委 員：9番の「小・中学生東北、全国及び国際スポーツ大会派遣事業費補助金」について。宿泊費が高騰している中、予算規模が変わらないのはどうなのか。増額するべきなのではないか。令和4年度の実績2,843,000円を派遣人数605人で割ると、1人あたり約4,700円となる。派遣場所の近い遠いはあるため一概には言えないが、十分な補助と言えるのか疑問に思う。

会 長：家庭が負担する遠征費の負担が重いのでは、増額した方が良いのではとの意見だが、それについて事務局の回答はあるか。

事務局：この補助金は子どもたちの大会の結果が反映されるもので、毎年使うお金に変動がある。コロナ禍前でも毎年実績に変動があり、予算額を下回る年もあったほど。どの額が一番適当なのか判断が難しい。現状維持ということで理解をいただきたい。

会 長：成績によって動きがあるもので、適正な予算設定はいくらなのか、なかなか判断が難しいとのことだった。その他に質問はないか。

委 員：全体的に前年度踏襲が多いのでは。予算額にめりはりをつけて、充てるところ削るところを明確にした方が、事業者にとってもより効率的な運用ができるのではないか。

会 長：この点についてはどうか。

事務局：委員のおっしゃることはもっともであると感じてい

る。既決の予算の中でそれぞれ対応しているところであるが、年度途中で不足が生まれれば、必要に応じて他の補助金から予算を動かして対応してきたし、今後も続けていく。

会 長：予算の枠としてはこの内容で進めるが、予算同士でいろいろなやりとりがあるということだった。コロナ開けが続くので、実績を踏まえて、固定化しない計画で進めていただければ。その他に無いか。

委 員：交付計画を見て感じることは、「スポーツをする人」への補助がメインであるということ。普段スポーツをしていない市民、スポ少などのスポーツ団体に所属していない子どもに対しても補助があればいい。スポーツに関わるきっかけを作るような、広く市民に補助するような仕組みがあれば良いのではないか。例えば、これからウィンタースポーツのシーズンで、今はどこもリフト券の値段がどんどん上がっていると思うので、そこに補助金を出したり、ロマントピアスキー場・百沢スキー場ともに市民無料の日を増やしたり、市民のリフト券を少し安くする等、一般の市民を補助する仕組みにならないものか。

会 長：事務局からの回答を。

事務局：補助金の交付、という形をとらずに支援している部分もある。例えば市内の小・中学生のスキー場利用は、学校の体育教科については無料、という仕組みをすでにとっている。他には、子ども向け教室や市民向けの教室を開催する場合は（全部ではないが）、スポーツ協会に交付している補助金の中から各団体に補助されている。

委 員：さまざまな仕組みを教えていただいて納得できる部分もあるが、やはりその予算の部分に関して全体の中で数パーセント程度というのはなかなか厳しい状況かなと。スポーツに参加する人数が増やせるように、手厚い補助をしてもらえたらいい。

会 長：スポーツを普段していない人もスポーツに関われるような補助金をもっとあればいい、という意見だった。スポーツ協会では、コロナ禍でも約40の大会・教室を自主事業として行っており（中には朗読会も）、約2万人の参加があった。開催自体はあまり知られていないかもしれないが、普段からスポーツをする人、しない人に対する補助を間接的に行っていることを私からも補足する。その他に意見は無いか。

委 員：子どもたちの全国大会の補助金について話題に上がったが、地域のスポーツチームの遠征費用についても補助してもらえたら。地元のスポーツチームは今どんどん強くなっていて、東北や全国の大会に出場する機会が増えているが、その費用も嵩んでいる。地元のチームとして、子どもたちに運動教室等、普及活動をやっているため、地域のために頑張る社会人チームの遠征費も補助してもらえたら嬉しい。

会 長：その点についてはいかがか。

事務局：運営経費がかさむのは理解できる。現段階の市の補助金の仕組みでは、特定のスポーツ団体への補助はなかなか難しい状況。地域のスポーツチームの皆さんには、今年から、働き盛りの運動教室をやっていただいて、その対価をお支払いする仕組みをスタートさせている。この取組を拡大し、大きな事業に仕立てていければと思っている。今年度スタートした事業でもあるため、様子を見ながら今後考えていきたい。

会 長：働き盛りの教室にも活躍いただいている状況とのこと。今年度からということで、すぐに盛り込むことは難しいかもしれないが、来年度以降に盛り込める可能性もあるため、積極的にご意見いただければ。他にはないか。

委 員：予算配分とか、項目別の予算はあらかじめ決まっているのか。

事務局：予算枠が決まっているものもあれば、年度ごとに上下

するものもある。例えば5番のスポーツ振興事業費補助金であるが、この補助金の中に県民体育大会に係る経費が含まれている。(この大会は県内で持ち回り開催しているが、)弘前で開催する場合、選手の派遣費はかからないが、当然開催経費が膨らむので、額が大きくなる。今年のように三沢などで開催した場合、当然派遣費がかかるため、その分経費が膨らむなど、年度によって上下する項目も結構ある。最初から、(例えば)ウィンタースポーツは75万ですよと決まっているわけではなく、「今年は新たな大会がありますよ」と情報が入ってくれば増えるし、「この大会は今後開催しません」という場合は減る、そういう仕組みになっている。目安として割り振りはあるが、結果として過不足が生じた場合は、課の予算の中でお金を動かす、ということもありえる。

会 長：予算としての大枠はあるものの、弾力性をもって動いているということだった。そのほかには無いか？

委 員：(なし)

会 長：それでは、本日の諮問内容について、異議などは無いか。

(委 員：異議なし。)

会 長：それでは、令和6年度の補助金交付計画は適切なものであると認め、市長に建議する。

会 長：本日は、補助金の仕組みや流れについても事務局から説明があり、委員の皆さんの「思い」もたくさん聞かれた。せっかくの機会であるため、聞きたいことや自由な発言をお許ししたいと思うが、何かないだろうか。

(委 員：特にない様子)

会 長：その他、事務局から情報提供を。

	<p>事務局：令和5年弘前市スポーツ賞や体育施設の利用、今後のスケジュールについて説明。</p> <p>会 長：これをもって、本日の会議を閉会し、進行を事務局へお返しする。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は公開</p>